

要 目

試験委託者

環境庁

表 題

メチルジサルファイドの藻類 (*Selenastrum capricornutum*) に対する生長阻害試験

試験番号

8 B 6 9 4 G

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No. 201「藻類生長阻害試験」（1984年）に準拠して実施した。

- 1) 被験物質： メチルジサルファイド
- 2) 暴露方式： 止水式（密閉），振とう培養（100rpm）
- 3) 供試生物： *Selenastrum capricornutum* (ATCC22662)
- 4) 暴露期間： 72時間
- 5) 試験濃度（設定値）： 対照区，10.0，17.4，30.3，52.8，91.9，160 mg/L
 （公比：1.7）
- 6) 試験液量： 100 mL（OECD培地）
- 7) 連数： 3 容器／濃度区
- 8) 初期細胞濃度： 1×10^4 cells/mL
- 9) 試験温度： 23 ± 2 °C
- 10) 照明： 4000 lux（ $\pm 20\%$ の変動内，フラスコ液面付近）で連続照明
- 11) 被験物質の分析： GC法

結 果

1) 試験液中の被験物質濃度

各試験液の濃度は開始時において設定値の 58～65 %であったため、下記の生長阻害濃度の算出には実測値を採用した。なお、暴露72時間後の設定値に対する割合は 39～42 %であった。被験物質は揮発性であるため、被験物質濃度の減少は、主に揮発によるものと判断した。

2) 生長曲線下面積の比較による阻害濃度

50%生長阻害濃度 EbC50(0-72) : 22.3 mg/L (95%信頼区間 : 19.6～25.4 mg/L)
無影響濃度 NOECb(0-72) : 10.1 mg/L

3) 生長速度の比較による阻害濃度

50%生長阻害濃度 ErC50(24-48) : 38.2 mg/L (95%信頼区間 : 算出不可)
無影響濃度 NOECr(24-48) : 19.1 mg/L
50%生長阻害濃度 ErC50(24-72) : 42.7 mg/L (95%信頼区間 : 算出不可)
無影響濃度 NOECr(24-72) : 33.5 mg/L